



助けあい 支えあいで 縁結び

# あいあいねっと通信

# 8月

暑中お見舞い申し上げます。連日、熱中症警戒アラートが発表され、日本史上最高気温が記録されるほど、今年の夏は暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

長引く物価高と昨年からの米騒動に加え、夏の暑さで農作物の生育が心配される中、日本の食料安全保障に不安を覚えざるをえません。こうした中、円滑な食品アクセスの確保へ向けて、地域関係者が連携して取り組む体制作りに農林水産省が補助事業を募集しました。あいあいねっとは、「全国食品ロス削減研究会」の山口・広島・岡山・愛媛・香川のフードバンクと連携し、各県で『食支援勉強会』を開催します。広島は9月27日に、あいあいねっとの事務所で開催します。詳しくは、同封しております案内をご覧下さい。あいあいねっとは、フードバンク活動の認知拡大を図り、食品の寄付と活用を呼びかけ、より食物にアクセスしやすい地域づくりを目指して参ります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

7月には、『食から未来を変えるフードバンク』というタイトルの書籍を出版しました。この本は、2022年に出版した『瀬戸内食品ロス削減団』の続編です。今回も「全国食品ロス削減研究会」のメンバーが合同執筆しています。あいあいねっとの活動を通して見えてきた“フードバンクの正体!?”とは…。京都大学人文科学研究所の藤原辰史教授にも特別寄稿していただきました。ぜひ、ご一読ください。



食べ物は食べるためにある！ “もったいない” のない社会を創る！

**フードバンク活動**

**食品ロス削減活動**

**健康づくり活動・まちづくり活動**

私たちは、食品関連企業から、規格外・包装破損・印字不良などの理由で、食べ物としては品質にまったく問題がないにもかかわらず、商品として扱えなくなつた食品（食品ロス）を無償提供していただき、それを食べることに困っている人々のもとに届けるとともに、地域の活性化に活かしています。

また、地域の方が笑顔になり楽しく学べる居場所作りとして始まったミニ講座も、参加者から大変好評を頂いております。今年は、ごみの捨て方、認知症の話、青春ポップスを歌ったり、任意後見制度について学んだりしてきました。次回11月は、整理収納アドバイザーの方に、整理収納について教えていただきます。ぜひ、お越しください。

フードバンク活動では、引き続き多くの団体や個人の方からご支援いただいております。4月には、「第96回広島県中央メーテー」が開催され、広島県労福協様よりフードドライブで集まった食品が届きました。その他、広島なぎさ中学高等学校様、サンリブ様、酪農牛乳様、佐藤建設様など、書ききれないほど多くの方から食品提供をいただきました。改めて感謝申し上げます。この食品を有効活用し、誰もがその人らしく、安心して暮らすことのできる地域社会を築くお手伝いができますよう、今後も活動して参ります。

広島県中央メーテー 4月26日



★日々の活動は、facebookで公開中



【編集・発行】

社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと

■住所：広島市安佐北区可部3-9-21

■TEL：082-819-3023

■FAX：082-815-6666

■Email：aiainet@nagominosato.jp

■web：http://www.aiainet.org/





## 『米騒動と地球温暖化』

社会福祉法人正仁会 フードバンク事業 あいあいねっと代表 原田佳子

大暑のみぎり、皆様方におかれましてはお変わりございませんか。

今年の梅雨明けは、気象庁から6月下旬に発表されました。観測史上最短日数だそうです。そして、梅雨明けと同時に、強烈な暑さがやってきました。そうなると気になるのが、農作物への影響です。ウクライナとロシアの戦争を契機に、3年前頃から、生活用品全般の値段が高くなり、私たちを苦しめていますが、今年に入って、日本人の食生活に欠かせない米がなかなか手に入らず、価格は一年前の倍になり、私たちの暮らしは、四苦八苦状態を強いられています。さて、これから、私たちは、否が応でも、低い食料自給率がどれほど大変かを思い知らされることになりました。一般的に食料自給率というとカロリーベースのことをいいます。日ごろの食事の国産食料品が、食事全体に占める割合をカロリーで表したものです。例えば、昨日の食事の総カロリーが2000kcalで国産食料品からのカロリーが500kcalとすると $500 \div 2000 = 25\%$ と計算します。農林水産省によると、2023年日本の食料自給率は38%です。と言うことは、残りの60%以上を海外からの輸入に依存することになります。ですから、この間の円安、コロナ禍による世界的な物流停滞、世界的な物価の高騰などの影響が物価高を直撃したのです。他にも、多くのことが考えられます、その一つに、地球温暖化による気候変動があります。最近、農作物（特に米）に被害を与える害虫カメムシのことが話題になりますが、地球温暖化により死なずに越冬しその数が増えているからだそうです。このことが米の価格高騰に拍車をかけています。そして、地球温暖化には、私たちが、日頃、何気に捨てている食品ロスも大きく貢献しています。World Resources Instituteによると、食品ロスから排出される地球温暖化ガスの量は、36億トンと言われています。それは、世界中の地球温暖化ガスの約8%を占め、自動車から排出されるそれと肩を並べるほどです。米不足や価格高騰には、政府の農業政策の失敗が、一番の要因と考えていますが、私たちが廃棄する食品ロスも一つの要因であることを、決して無視することはできません。一連の米騒動を、価格や品不足だけで終わらせず、その原因となる事柄まで、私たちは関心を持つことが、引いては、安心な日々の食生活に繋がります。あいあいねっとは、そのようなことも活動の一部として、様々な情報を今後も発信しつづけます。引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。そして、くれぐれも熱中症にはお気をつけ下さい。

## 「食品ロス削減推進サポーター」、新たに12名認定されました！・・・・・

この春、消費者庁が認定している「食品ロス削減推進サポーター」に、12名の方が新たに認定されました。現在、あいあいねっとスタッフや地域ボランティアさん、正仁会の職員を含めて24名が認定を受けています。日々の活動を通して、食品ロスを楽しく学び、様々なイベントに参加し、食品ロス削減活動を精力的に行って行きたいと思います。

引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。





## パートナーさんのご紹介

**【ふれあい元気食堂】**様は、広島市の中筋・東野学区の地域・子ども食堂です。令和6年5月にオープンし、毎月第2日曜日に東野公民館にて開催されています。代表の池田様はとても明るく、スタッフに栄養士さんや大学生の方も参加されており、チームワーク抜群な元気あふれる地域・子ども食堂です。令和6年8月より、あいあいねっとからも食材をお渡ししています。

### 『ほっと一息つける地域のふれあいの場を目指して』

ふれあい元気食堂 池田悦子

私が母子会の理事をしていたときに、母子家庭が抱える問題を目の当たりにし、地域のコミュニケーションのない現状にさみしさを感じました。何かできることがあればと思い、『ふれあい元気食堂』を始めることにしました。

地域・子ども食堂を立ち上げるため、6年間手探りの中、準備を進めてきました。子ども食堂支援センターや他の子ども食堂など、いろいろな話を伺いました。そんな中、経験豊富な栄養士さんと出会い、ボランティアスタッフも徐々に集まりました。食材の提供・予算・ボランティアの確保などたくさんの課題もありましたが、多くのアドバイスをいただき、2024年5月12日『ふれあい元気食堂』はオープンしました。

『ふれあい元気食堂』の自慢は、メニューの豊富さです！あいあいねっとをはじめ、げんき市場、JA農協、広島ロイヤルライオンズクラブ、フレステ中筋店、子ども食堂支援センターなどの団体からの食材提供や、地域のお百姓さんからの新鮮な野菜や果物など、いつもたくさんの食材をいただいている。あいあいねっとさんからも肉や魚、お菓子、野菜や調味料などいろいろなものを提供くださり、とても助かっています。皆様からいただいた食材を余すことなく、料理して提供します。食堂には10品以上の料理が並びます。開催後、スタッフとミーティングを行い、改善ポイントやメニューの考案をしています。「美味しかった。いつも楽しみにしています。」「応援しているよ。ありがとう。」と、皆様の優しい言葉にスタッフも頑張っています。

活動より1年が過ぎ、立ち上げ期間中にいただいたアドバイスが虹の懸け橋となっていると感じています。月に1度の開催ではありますが、『ふれあい元気食堂』に協力しようと声をかけてくれる地域のお百姓さん、「また食べに行くよ。楽しみにしてるね。」と声をかけてくれる登下校中の子どもたちに、いつも元気をもらっています。この活動を通して、少しずつ地域のコミュニティーが広がっていると感じています。継続は力なり！住みよいまちづくりにスタッフ一同頑張っていきます。引き続きよろしくお願ひいたします。

#### ある日のふれあい元気食堂 メニュー

タラとカボチャのクリームシチュー

ミニうな丼 にら焼き

なすともやしのマーボ炒め

きのことハムの味噌炒め

山芋短冊 かぼちゃの煮物

キャベツの酢味噌サラダ

栗小豆の葛ようかん マフィン

バナナとレモンカードのパウンドケーキ





## 『消費税は社会保障費？』

社会福祉法人正仁会 業務執行理事 松林克典

中国地方では、「統計史上初」という代名詞のついた短い梅雨が明け、6月の中旬から夏本番となりました。不安定な雨雲による“どしゃ降り”後に、ようやく少し涼が得られますが、異様に長い灼熱の夏の到来に、秋の収穫など一抹の不安を覚えます。

さて、つい先日、第27回参議院議員選挙が投開票され、与党が過半数割れして、衆議院に続き参議院においても決断できない国会が発足しました。議論を深めて前に進めるといった意味では重要なことなのかもしれません、これだけ世界経済や地政学的な様子が激変する中で、変化のスピードについていけるのかどうかを懸念するところでもあります。選挙の争点のひとつとなったのは消費税減税・廃止ではなかったかと思います。米や野菜、物価の優等生のはずの鶏卵でさえも価格が高騰し、日々の食卓に不吉な影を落とし始めたことが一因です。消費税廃止を公約に掲げた政党の躍進が目立つ結果となりました。与党は、「消費税は社会保障費に、将来に向けての恒久的財源は確保しなければならない」といった謳い文句で抗っていましたが、目の前の窮屈に疲れ果てた国民には、声が届かなかったようです。

社会保障分野に身を投じている筆者としては、世界に類を見ない人口動態（超高齢・人口減少社会）の日本社会で高福祉を維持するためには高負担は『是非もなし』と考えるところですが、今の日本国民には将来を見据える余裕さえないように感じられます。政府も消費税の使途詳細を、もっと国民に明らかにする必要があるとも思います。「政治と金」の暗いイメージが、税のあり方にさえ影を落としています。

いずれにしても、新政権には、平均月額賃金が他産業よりも8万3千円も低いと言われている福祉分野の公定価格引き上げに、しっかりと力を投じてほしいものです。

### 私たちの活動をご支援いただいている事業者様・団体様をご紹介します

- ◆株式会社あじかん◆有限会社アトラス・コーポレーション◆アルフレッサファーマ株式会社
- ◆アヲハタ株式会社◆株式会社イズミ◆イズミ・フード・サービス株式会社◆株式会社エコールドフルール
  - ◆江崎グリコ株式会社◆株式会社SKYコーポレーション◆NTT労働組合中国総支部
- ◆株式会社エムズホーム◆株式会社M&K◆株式会社M&Cコラボレイション◆おおたけ株式会社
- ◆株式会社沖野建築設計◆キユーピー株式会社広島支店◆医療法人社団恵正会◆カルビー株式会社
  - ◆株式会社三幸産業◆株式会社サンリブ◆ジャパンフード株式会社◆生活協同組合ひろしま
    - ◆株式会社そごう・西部 そごう広島店◆ダイキヨーニシカワ株式会社
  - ◆ダイハツ広島販売株式会社◆株式会社ダイヤス食品◆大和リース株式会社広島支店
  - ◆中国電力株式会社◆中電環境テクノス株式会社◆東京海上日動火災保険株式会社
- ◆東芝テックソリューションサービス株式会社◆堂本食品株式会社◆株式会社ナリコマエンタープライズ
- ◆有限会社ニシオカ◆西日本高速道路パトロール中国株式会社◆日本労働組合総連合会広島県連合会
  - ◆広島アグリフードサービス株式会社◆広島駅弁当株式会社◆広島ガス株式会社
- ◆広島県労働者福祉協議会◆公益財団法人広島市農林水産振興センター◆広島綜合警備保障株式会社
  - ◆広島海苔株式会社◆広島バスセンター◆広島森永乳業株式会社◆株式会社フォーリーフ
- ◆株式会社フジ◆藤井医療器株式会社◆株式会社藤三◆株式会社ポプラ◆マルサンアイ株式会社
  - ◆ミック株式会社◆三菱地所株式会社及び三菱地所プロパティマネジメント株式会社
  - ◆株式会社ミライト◆株式会社三國屋安芸太田工場◆株式会社ミルックス広島支店
  - ◆明治安田生命保険相互会社◆山崎製パン株式会社広島工場◆株式会社ユアーズ
  - ◆ゆかり屋本舗株式会社◆株式会社良品計画◆YKK AP株式会社